

閻魔堂・檀信徒休憩所落成記念

えんまさま





六道輪廻

わたしたちは、どこから来て、どこへ行くのでしょうか。

生き物はすべてこの世に生まれて、そして死んでゆきま
す。ひとつの生き物が死ぬと、また別の生き物として生ま
れ変わるといいます。これを輪廻といっています。

生まれ変わる世界は、天上・人界・修羅・畜生・餓鬼・
地獄と分かれていて、これを六道といっています。

七日ごとに生まれ変わり、遅くとも四十九日にはどの世
界に生まれ変わるかが決められます。ですからこの四十九
日の供養が大切なのです。



初七日しよなのか

死者は七日ごとに裁判さいばんを受けます。初七日に秦広王しんこうおう（不動明王ふどうみやう）に裁かれた者たちが、地獄の鬼に切られたり、こなごなにされていきます。でも、地獄では風に吹かれるとまた生き返り、何べんも責められ、苦しみ続けるのです。

罪の決まらない者たちは、三途さんずの川を渡って先へ行きますが、罪の深い者ほど川の深いところを渡らなければなりません。そして渡り終えたたたんに、みんな奪衣婆だつえばに着物をはぎ取られてしまいます。





ふたなのか
二七日(十四日)

ふたなのか
二七日(十四日)

ふたなのか
二七日(十四日)には初江王(釈迦如来)に裁か
れます。

針の山や火の地獄が描かれています。鬼を投げ飛
ばしている豪傑がいます。

わたしたちが七日ごとに死者の冥福を祈るのは、
良い人に生まれ変わることができるようにするため
です。

そうすると、天上から帯が投げられて、
救いの道が開かれるのです。





みなのか
三七日(二十一日)

みなのか
三七日(二十一日)には宋帝王(文殊菩薩)に
裁かれます。

鬼たちが死人をズタズタにしています。下には
血の池地獄が広がっています。

上の山は「死出の山」といって、死ぬとまずさ
しかかるところで、とても険しく容易には登れま
せん。鬼たちに追い立てられて泣く泣く山を越え、
最初の秦広王のところにたどり着きます。





よなのか
四七日(二十八日)

よなのか
四七日(二十八日)

熱湯の川をやつとの思いで渡り、よなのか四七日
(二十八日)には、ごかんおう五官王(普賢菩薩)に
裁かれます。

うそをついた人は、首にかせ枷をはめられ、
針のむしろにすわらせられ、した舌を抜かれた
り、こなごなにされています。



他の人の親切しんせつに感謝かんしゃしなかつた人が竜りゅうの
口にとじこめられています。

ごなのか
五七日（三十五日）

ごなのか
五七日（三十五日）には、地獄の大王、
閻魔大王えんまだいおう（地蔵菩薩じぞうぼさつ）に裁かれます。

閻魔大王えんまだいおうが良い行ないや、悪い行ない
が書かれた物を読み上げると、死人は「私
はそんな悪いことはしていません。」と、
ごまかそうとします。しかし、閻魔大王えんまだいおう
の鏡の前には、生前の行ないが全て写し
出されるので、うそをついてもすぐにわ
かってしまいます。

ごなのか
五七日（三十五日）





むなのか
六七日（四十二日）

むなのか
六七日（四十二日）

むなのか
六七日（四十二日）には、へんせいおう変成王

みろくぼさつ（弥勒菩薩）に裁かれます。

赤鬼・青鬼・白鬼が肉だんごを食べていますが、その中に三つ目の鬼がいます。その目は何でも見破ることがができます。

もうじや亡者が釘打ちの罰ぼつからのがれるために、ごはんや餅もちに釘くきが打たれています。





七七日（四十九日）

ななのか
七七日（四十九日）には泰山王
（薬師如来）によって、最後の判決
が下されます。

これによって六つの世界のどれ
かに行くこととなります。そのひ
とつが地獄ですが、他には、餓鬼・
畜生・修羅・人界・天上があります。
自分ばかりおいしいものを食べて
いると餓鬼になって、食事をしよ
うとすると火になって食べられま
せん。畜生は人間以外の動物です。
修羅は争いばかりしている世界で
す。人界は人の世で、天上は仏さ
まの世界です。

七七日（四十九日）

畜生



餓鬼



修羅





四十九日の泰山王たいざんおうのところ、どの世界へ行くかがまだ決まらなかった者は、百日目に平等王びやうどうおう（観世音菩薩かんぜおんぼさつ）に裁かれます。

今までのお話はけっして死んでからのお話ではありません。あとで後悔こうかいをしないように、今日きょうから次のことをしましょう。

これを六波羅蜜ろっばらみつといいます。

- 一. 人に心と物を施ほどこしましょう。
- 二. 約束やくそくを守りましょう。
- 三. 我慢がまんをしましょう。
- 四. 努力どりよくをしましょう。
- 五. 静かに物を考えることをしましょう。
- 六. 頭はたらを働かせることをしましょう。





下の方には地獄、上の方には極楽絵が描かれています。

平等寺 閻魔絵



脇侍 阿弥陀如来



閻魔大王

えんまだいおう
閻魔大王



地藏菩薩

脇侍 地藏菩薩

『^{えんまだいおう}閻魔大王は、^{さんず}三途の川を渡ってようやく冥府にたどりついた死者と最初に対面し、生前の善行悪行による賞罰の審判を下す、冥界の王としておそれられ、あつく信仰されている。この大王は地蔵菩薩を^{ほんちぶつ}本地仏とし、自ら地獄に落とした亡者を救う、慈悲ある存在でもあるとされる。

中国道教の影響が^{どうふく}つよく、冠と道服をつけて手に^{しやく}笏をもつ、おそろしい^{ふんねそう}忿怒相にあらわされることが多い。



閻魔堂及び檀信徒休憩所

閻魔堂・檀信徒休憩所



車椅子対応トイレ



休憩所内



休憩所内



足立坂東観音霊場 第17番札所

真言宗 普門山 平等寺
智山派

〒335-0034 埼玉県戸田市笹目6丁目5番地の4
電話 048(421)5407 FAX 048(422)0717